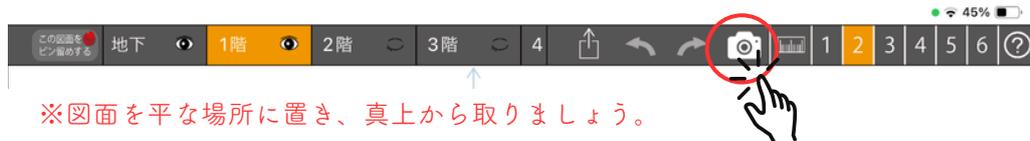


下絵撮影機能が付きました

1. 作図を作図を始める前に、環境設定で建物の「グリッド間隔」設定しておきます。

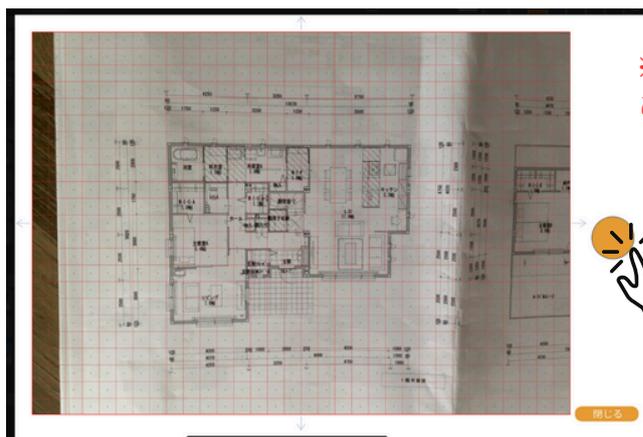


2. 作図画面の  ボタンをタップして、図面を撮影します。



※iPadの設定によってカメラ起動時に90度回転して写る事がありますが、iPadを垂直に起こすなど動かすことで正常の向きに戻ります。

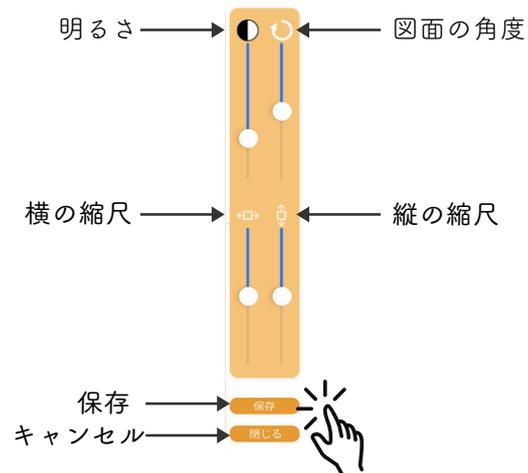
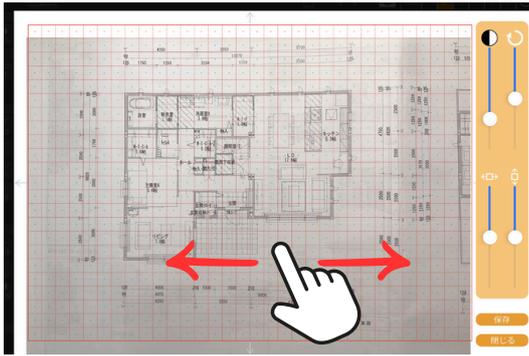
2.  ボタンをタップします。



※グリッドに合わせて撮影します。
ぴったり合わなくても後から調整が可能です。

3.配置、縮尺などを調整します。

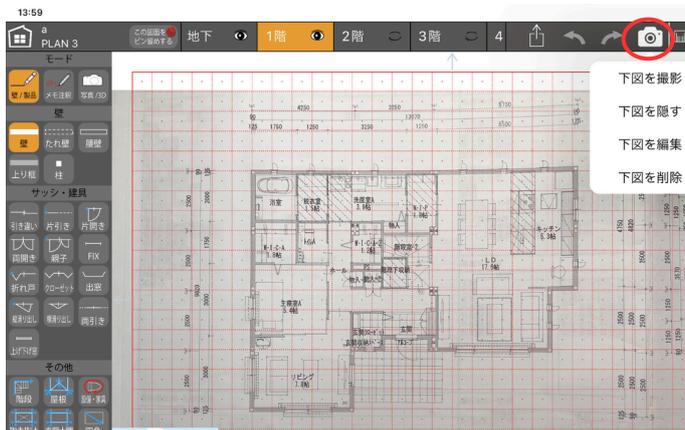
※グリッドに合わせて配置しましょう



3.保存をタップします。

下絵に合わせて間取りを描きましょう。

※カメラボタンをタップして、修正や表示/非表示の切替えができます。



☀️ 下絵は階ごとにそれぞれ取り込むことが可能です。
※下絵画像は印刷できません。

☀️ グリッドの設定は途中で変更できません。作図の前に設定しましょう。
グリッド間隔が違う部分は「補助線ツール」で作図をしましょう。

注釈の編集メニューに

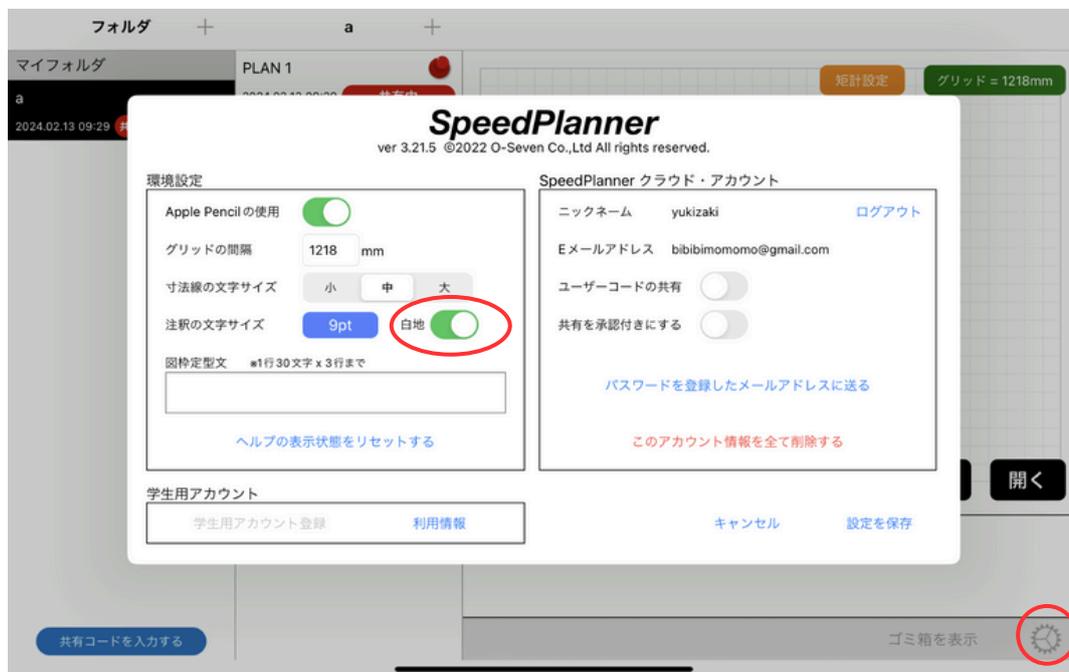
「複製」、テキスト文字の「背景白地」が可能になりました。

1. メモ注釈モードでテキストを入力します。

配置済みのテキストは、編集ツール  で変更したいテキストをタップします。



 環境設定で、テキストの背景白地あり・なしの初期設定を行うことができます。



出カメニューの縮尺が1/50、1/75、1/100、1/150から選択できるようになりました。

